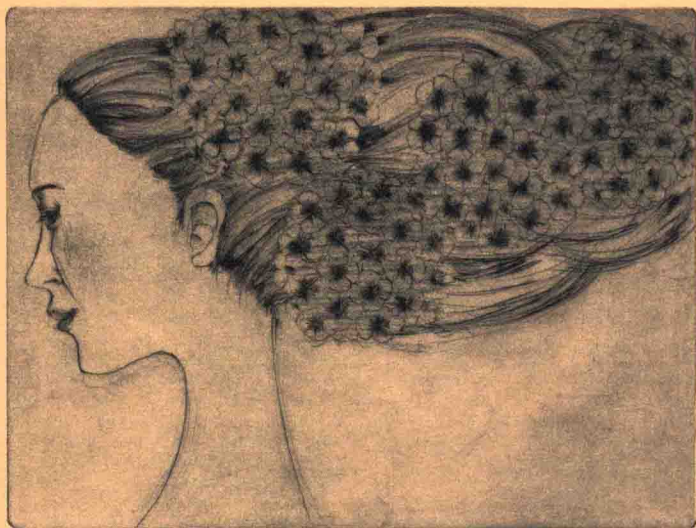


わたしの居場所は ここにある

人生の大切さに気づく46のヒント



さかもと未明

Sakamoto Mimei

海竜社

わたしの居場所は ここにある

人生の大切さに気づく46のヒント



さかもと未明

Sakamoto Mimei

海竜社

【著者紹介】

さかもと未明（さかもと みめい）

漫画家、作家。

1965年神奈川県生まれ。玉川大学英文科卒業後、商社勤務を経て漫画家に。その後、評論活動やテレビ出演も多く、歌手デビューも果たす。2007年に膠原病と診断され、発達障害だったことも明らかに。著書に『マンガ ローマ帝国の歴史』（全三巻、講談社）、『神様は、いじわる』（文春新書）、『まさか発達障害だったなんて』（星野仁彦氏との共著、PHP新書）など多数。

わたしの居場所はこちらにある

——人生の大切さに気づく46のヒント

二〇一四年十二月二十二日 第一刷発行

著者＝さかもと未明^{みめい}

発行者＝下村のぶ子

発行所＝株式会社 海竜社

東京都中央区明石町十一の十五 〒104-0044

電話 (03)3542-9671 (代表)

FAX (03)3541-5484

郵便振替口座＝0011-0944886

ホームページ＝<http://www.kairyusha.co.jp>

本文組版＝株式会社キヤップス

印刷・製本所＝シナノ印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えます。

©2014. Mimei Sakamoto, Printed in Japan

ISBN978-4-7593-1373-4 C0095

わたしの居場所はどこにある * 目次

1章 小さな幸せの見つけ方

- 1 今、無事に生きているだけで幸せ 20
- 2 世間に左右されない 25
- 3 差別や不自由さ、不平等はなくならない 30
- 4 夢はかなったらすてきだけど、夢の途中はもったいい

2章 人生で一番大切なこと

- 5 お金やものをあげられる人になる 40
- 6 勉強する本当の理由 45
- 7 素直でいよう。でも、無邪気すぎるのはダメ 50
- 8 困ったときにどうするか 55
- 9 人からとり残されたと思う日は…… 60

3章 人間関係

- 10 人生のどん底で出会った本当の友人 66
11 自分を伸ばすには、厳しい人・苦手な人も必要 71
12 人の力を借りないでは、何もできない 76
13 いい人を演じる人生は苦痛でしかない 80
14 ひとりよがりは身を減ぼす 86

4章 男について

- 15 男と女は平等ではない 92
16 女性が前に出ると、男女関係は崩壊する 97
17 女性の考え方が、世の中をおかしくしている 101
18 中途半端な女に、男は振り向かない 106
19 女は不倫で幸せにはなれない 111
20 退屈な女は、男に浮気される 117

5章 女の美しさ

- 21 美しい女性ほど生きづらい 124
22 美人も三日で飽きる 130
23 それでも女はきれいではなくてはいけない理由 134
24 美容液で肌は本当にはキレイにならない 139
25 女性が女性の働き方の邪魔をしている 143
26 表面的な美は、人に感動を与えられない 146

6章 恋愛について

- 27 恋愛経験はたくさんあっても役に立たない 152
28 恋愛は別れがあるのが当たり前 157
29 恋愛で傷つけられた相手は鬼になる 161
30 コンドームをするくらいなら、セックスしない 165
31 苦労が増えるから、あえて結婚する 169
32 なぜ一人口は食えないけど、二人口は食えるのか？ 174
33 地位やお金で結婚の幸せ度は決まらない 177

7章 お金について

- 34 お金に困ると人は離れていく 184
35 お金で人の心は買えるのか? 188
36 お金で手に入るものは、本当は価値のないものだけ 193
37 お金はコツコツ貯めるしかない 198
38 心が落ち着くとお金も貯まる 202

8章 家族について

- 39 「家」があっても本当の家ではないこともある 210
40 不条理な家庭ほど、いい子が育つ 214
41 おみそ汁一杯が家族の証 218
42 子供や家族は、持てるときに持つ 221
43 自分の夢を子供に押しつけてはいけない 225
44 不幸な母親が、家族を不幸にする 229
45 母となるすばらしさを知らない女性は損をしている 232
46 毎日同じだから、夫婦は面白い 236

わたしの居場所は ここにある

人生の大切さに気づく46のヒント



さかもと未明

Sakamoto Mimei

海竜社



わたしの居場所はどこにある * 目次

1章 小さな幸せの見つけ方

- 1 今、無事に生きているだけで幸せ 20
- 2 世間に左右されない 25
- 3 差別や不自由さ、不平等はなくならない 30
- 4 夢はかなったらすてきだけど、夢の途中はもったいい

2章 人生で一番大切なこと

- 5 お金やものをあげられる人になる 40
- 6 勉強する本当の理由 45
- 7 素直でいよう。でも、無邪気すぎるのはダメ 50
- 8 困ったときにどうするか 55
- 9 人からとり残されたと思う日は…… 60

3章 人間関係

- 10 人生のどん底で出会った本当の友人 66
11 自分を伸ばすには、厳しい人・苦手な人も必要 71
12 人の力を借りないでは、何もできない 76
13 いい人を演じる人生は苦痛でしかない 80
14 ひとりよがりは身を減ぼす 86

4章 男について

- 15 男と女は平等ではない 92
16 女性が前に出ると、男女関係は崩壊する 97
17 女性の考え方が、世の中をおかしくしている 101
18 中途半端な女に、男は振り向かない 106
19 女は不倫で幸せにはなれない 111
20 退屈な女は、男に浮気される 117

5章 女の美しさ

- 21 美しい女性ほど生きづらい 124
22 美人も三日で飽きる 130
23 それでも女はきれいではなくてはいけない理由 134
24 美容液で肌は本当にはキレイにならない 139
25 女性が女性の働き方の邪魔をしている 143
26 表面的な美は、人に感動を与えられない 146

6章 恋愛について

- 27 恋愛経験はたくさんあっても役に立たない 152
28 恋愛は別れがあるのが当たり前 157
29 恋愛で傷つけられた相手は鬼になる 161
30 コンドームをするくらいなら、セックスしない 165
31 苦労が増えるから、あえて結婚する 169
32 なぜ一人口は食えないけど、二人口は食えるのか？ 174
33 地位やお金で結婚の幸せ度は決まらない 177

7章 お金について

- 34 お金に困ると人は離れていく 184
35 お金で人の心は買えるのか? 188
36 お金で手に入るものは、本当は価値のないものだけ 193
37 お金はコツコツ貯めるしかない 198
38 心が落ち着くとお金も貯まる 202

8章 家族について

- 39 「家」があっても本当の家ではないこともある 210
40 不条理な家庭ほど、いい子が育つ 214
41 おみそ汁一杯が家族の証 218
42 子供や家族は、持てるときに持つ 221
43 自分の夢を子供に押しつけてはいけない 225
44 不幸な母親が、家族を不幸にする 229
45 母となるすばらしさを知らない女性は損をしている 232
46 毎日同じだから、夫婦は面白い 236

プロローグ 私が見つけた小さな幸福

●「自由」「自立」「両立」といった理想がそもそも間違っている

私たちは、とても生きにくい時代に生きている気がします。この本は、そんな「生きづらさ」をどこかで感じながら生きている、そんな方たちのために書きました。

私はこれまで、ずいぶん悩んで生きてきました。社会や教育は「女性自立を!」「自由に人生を謳歌して自己実現を!」「国際化社会を生き抜こう!」など、さまざまなことを求めています。

でも、「自立できるくらい働いたら、結婚なんてとてもできないなあ」「自由に人生

を謳歌って何をしたらいいのかしら?」「私らしい生き方ってなんだろう?」「世界に通用するにはどうしたらいいの? まず英語?」など、考えるほどに途方もないことに感じられて、辛かった。だって、自立するにも、自由を謳歌して遊んだり、旅行したり、学校に通うのにもお金がかかりますし、体力も要ります。

私はお金にも体力にも恵まれなかったので、そういう社会の風潮、教育は、とてもつらいものでした。

高校2年の時、進路を決めるように学校から言われました。

私は、

「できるなら結婚したい」

と先生に言いました。「いずれ結婚して子供を産むのなら、むきになって受験したり、就職してががつ働いたりするのでなく、結婚して静かに暮らしたい」と思ったのです。でも、もちろん相手がいるわけではありません。子供を産むことにも迷いがありました。そんな私に先生は、

「せっかく進学校にいるのだし、大学くらいはいけたら行ったらいいのではないか。